

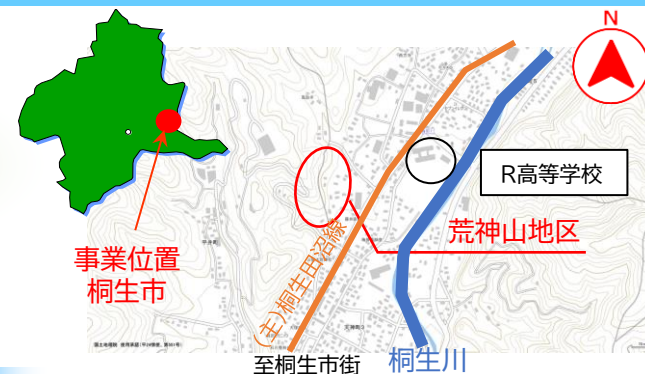
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

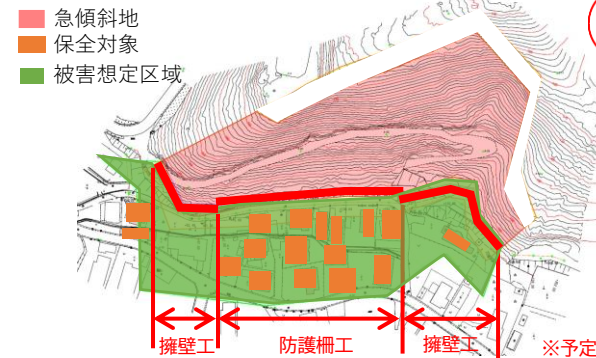
防護柵と擁壁をつくります

地元の声

・住宅の裏に山があり、大雨で崩れてくるのではと心配です。(地元住民)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、防護柵工と擁壁工の詳細設計を行います。



事業の概要

- 事業箇所: 桐生市梅田町一丁目
- 事業内容: 防護柵工 L=245m、擁壁工 L=100m
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵・擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後(目標) |
|----------------|-----|---------|
| 被害を受けるおそれのある人家 | 23戸 | 0戸 |